

テニス・相生学院高 プロ転向前に 2選手壮行会 河内が決意表明

テニスのジュニア日本代表などとして活躍し、今春にプロ転向する相生学院高3年の河内一真、斉藤貴史の壮行会が4日、加古川市の加古川プラザホテルであった。昨夏の全日本ジュニア選手権王者の河内は「将来はウィンブルドンのセンターコートで勝つのが夢。4年でトップ100に入



プロ転向前に決意を表明する河内一真

れるぐらいにレベルを上げたい」と決意を語った。河内は強力なバックハンド、斉藤はフォアが武器で、ともに粘り強いテニスが身上。河内は2010年の国別対抗戦ジュニア・テ杯で日本の初優勝の原動力となり、斉藤も翌年のジュニア・テ杯6位に貢献した。

壮行会は同校テニス部の卒業生壮行会と併せて開かれ、部員や保護者ら約120人が参加。斉藤は国際大会へ遠征中で欠席した。荒井貴美人監督は2人に「後輩が夢を持つて取り組めるようなテニスを切り開いてほしい」とエールを送った。

(永見将人)

に予選、6日に決勝、デュアルモーグルは7日に予選、8日に決勝を行う。

県高校総体

総合開会式は 6月1日実施

兵庫県高校体育連盟は4日、神戸市中央区の兵庫県民会館で理事・評議員会を開き、第57回兵庫県高校総体(神戸新聞社後援)について、総合開会式を6月1日に神戸市長田区の兵庫県立文化体育館で実施、7、9日を集中開催期間とすることを決めた。

続いて行われた指導者研修会では、元サッカー日本代表サポータースタッフで、県立加古川医療センターリハビリテーション科の柳田博美医師が「成長期スポーツ障害への対応」と題して講演。「選手のパフォーマンスの低下は筋疲労が原因の場合が多い。選手のちょっとした痛みや疲れに耳を傾けてほしい。体罰防止にもつながる」と訴えた。(小林隆宏)